



文化財を守ります

文化財防火デーの1月26日、本殿が国重要文化財に指定されている大井町の武並神社で、防火訓練が行われました。訓練には、文化財保護関係者や付近住人、神社の氏子で組織する自衛消防隊メンバーら約60人が参加。バケツリレーや周囲3カ所に備え付けられた放水銃を使っての初期消火訓練に加え、発生の通報を受けた想定で駆け付けた市消防本部も参加するなど、本格的な訓練に参加者は真剣な表情で臨みました。

火元に向かってバケツリレー

旧正月をもち花で祝う

1月29日、大正村にある市指定文化財の旧三宅家で、地元農家に伝わる旧正月の伝統行事、もち花づくりが行われました。大正村と地元の主婦とでつくるボランティア団体モガ・サロン（伊藤千鶴代表）が、子どもたちに伝統行事を伝えていこうと、5年前から毎年開催されています。この日は、地元の親子や観光客ら約200人が参加し、用意された竹に紅白のもちを交互にバランスよく飾り付けていきました。

全体のバランスを見ながら一つ一つ丁寧に



文化の発展願い統合

平成16年8月から統合に向けて協議を進めていた市内の文化団体の統合協定調印式が2月2日、市役所市長応接室で行われました。統合するのは市文化振興会、岩村町文化協会、山岡町文化協会、明智町文化協会、串原文化展文化祭実行委員会、上矢作町文化協会の6団体で、4月から「(財)恵那市文化振興会」として発足します。調印後、伊藤秀幸市文化振興会長は「行政の支援を受けながら恵那の文化を発展させたい」とあいさつをしました。

より一層の文化の発展を誓う6団体の代表



友好都市・5市を訪問

1月19日、20日に岩村町が友好協定を締結している、静岡県大須賀町（現掛川市）・藤枝市・修善寺町（現伊豆市）、愛知県西尾市・知多市へ堀収入役ら13人が表敬訪問し、観光情報の提供や意見交換を行いました。今後は恵那市として友好関係を発展させていくこととし、恵那駅前観光案内所では、今回訪問した各市のポスターやパンフレットなどを設置して紹介していきます。ぜひお立ち寄りください。

愛知県西尾市を訪問する一行

給食っておいしいね

1月24日、25日に恵那市学校給食センターで、第13回学校給食フェアが開催されました。この行事は、文部科学省の学校給食週間（毎年1月24日から1週間）と合わせて実施され、施設の見学や給食の試食を通して、学校給食に対する理解と関心を深めることが目的。24日は青森県の郷土料理を取り入れた献立が用意され、試食した32人の参加者は、一口一口味を確かめながら、おいしそうに給食を味わいました。

じゃっぱ汁など青森県の郷土料理を堪能



将来の誓い新たに

1月25日、山岡中学校で2年生が将来の誓いを立てる立志式が開かれました。この行事は昭和51年から続く伝統行事。2年生の生徒58人は、敷地内にある立志の塔の前に集まりそれぞれ志を宣誓、将来の目標を書いた作文を塔の中に収めました。その後、体育館で全校生徒と保護者を前に生徒代表の熊谷瞳さんは、「みんなから信頼される獣医を目指します」と力強い誓いを述べました。塔に収めた作文は6年後の成人式に取り出す予定です。

立志の塔に志を宣誓する2年生の生徒



みそ作りって気持ちいい

2月8日、武並町のみそ加工所で恵那みそ寒仕込み講座が開催され、市内外から約20人が添加物を使わないみそ作りに挑戦しました。作業は、煮てつぶした大豆にコメこうじ、麦大豆こうじ、塩を混ぜたものを仕込むおけにたたきつけ、空気をしっかり抜いて仕込むのがみそ。参加者は、気分もすっきりしておいしいみそができると楽しそうにみその材料を投げ入れていました。仕込んだみそは12月に出来上がり、参加者に渡されます。

勢いよくみその材料をおけに投げ入れる参加者ら



愛・地球博の輪大正村へ

愛・地球博（愛知万博）で活躍した自転車タクシーが明智町の日本大正村で使用されることになり、2月2日、同村浪漫亭前で貸与式が開催されました。

自転車タクシーは、市が譲り受け同村に貸与するもので、運転者を含め4人乗、重さ143キロ、バッテリー付で少ない力で楽に走ることができます。「大正号」と名付けられ、村内の散策や回想法のセンターの送迎、イベントなどでの活用が検討されています。

自転車タクシーに試乗する皆さん

絵本で楽しく言志四録

NPO法人いわむら一斎塾は、岩村町ゆかりの儒学者佐藤一斎の教えを分かりやすく紹介した絵本を作成しました。絵本のタイトルは「親子で読む『言志四録』おじいちゃんとおく」で、岩邑中学校の教諭、生徒らの協力を得て、「言志四録」から選んだ教えを分かりやすい解説とイラストで紹介。2月14日、堀井理事長らが作成した絵本を市内の3年生以上の小学生と中学生全生徒などに贈呈するため市長を訪問し、目録を手渡しました。

市長に目録を手渡すいわむら一斎塾堀井理事長ら



4 団体が事例を発表

2月4日、恵那文化センターで生涯学習事例発表会が行われ、市内の4団体が各取り組みを紹介しました。地域ぐるみで子どもたちを見守っている長島小学校の「ちょぼパト」では、保護者が主体となり安全パトロールを実施。無理のない活動が長く続けられることであることや、上級生が下級生の面倒を良く見るようになったなど利点を挙げました。今後は子ども110番の拡大や地域安全マップの作成などに取り組むことも紹介しました。

地域で子どもを守る「ちょぼパト」の活動内容を発表



恵那の特産品を学ぶ

美容食、健康食として近年注目を浴びている寒天。その製造工程を知ろうと、2月18日、山岡町の丸サ寒天製造所で寒天づくり講座が開催され、12人が参加しました。「突出」と呼ばれる、ところてんを突き出す作業の体験では、見た目よりも重量があり、力のいる作業に悪戦苦闘したほか、凍結乾燥の工程では天候や気候に左右され、作業が深夜に及ぶこともあるなどの製造者の苦労話を熱心に聞き、寒天作りを学びました。

ようかん状に切ったところてんを天筒で突き出す「突出」



かるたは一瞬の勝負

2月5日、長島町の市民会館で市子ども会指導者連絡協議会のかるた取り大会が開催され、市内17校の小中学生ら約160人が熱戦を繰り広げました。エキシビジョンでは、日本かるた協会の皆さんが羽織、はかまで模範演技を披露。緊迫した空気の中、飛び交うかるたに歓声が上がりました。大会は小・中学生の部に分かれ、各6人のグループ制で2回戦を行い、合計札数で上位6位が入賞、3位以上にはメダルが贈られました。

「はいっ」と手を伸ばし、熱戦を繰り広げる参加者ら